

Web 活用研修

(株) 話し方研究所 福田賢司

新型コロナ感染拡大下に、オンラインによる会議、ウェビナーが活発に行われるようになりました。就職面接も最終面接がオンラインという会社もあるくらいです。

そして、このように便利なツールが広がることで、移動の手間、集合の手間が減り、効率的な業務遂行も可能になる、という側面もあります。よって、いち早くこのようなツールに慣れ、使いこなしていくことが、行政職員にも求められるであろうと私たちは考えています。

しかし、Zoom が使えない、昔からシスコのシステムを使っていてそれ以外は使えない、などの制限がある自治体も少なくありません。時代はツールを問わず、何であっても対応すべきだという流れなのです。代表的なツールを知りつつ、ハード面も整え、使いこなせる人材を育てていくことが大切だと感じています。



話し方研究所 代表取締役。金融業界を経て、平成 8 年、話し方研究所の営業として入社。全国の自治体や人事院、自治大学校、市町村アカデミーなどの官公庁、日本能率協会等の各種団体、民間企業での研修を手掛け、研修先は約 700 社の団体に及ぶ。

日常の出来事を用いた臨場感ある講義は、聞く人を惹きつけ、鋭い視点のコメントや実習指導に定評がある。講師指名率は社内トップ。楽しめる場をつくり、本音で指摘し合うことをモットーに、熱血指導にあたっている。

専門領域はクレーム、ハードクレーム、説明力強化、住民説明会実践、プレゼンテーション、スピーチ訓練、折衝・交渉力、ビジネスマナー、モチベーションマネジメント、ディベート等を扱う。